

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 11 月 5 日 (2015.11.5)

【公表番号】特表 2014-534287 (P2014-534287A)

【公表日】平成 26 年 12 月 18 日 (2014.12.18)

【年通号数】公開・登録公報 2014-070

【出願番号】特願 2014-533588 (P2014-533588)

【国際特許分類】

C 0 8 L 27/06 (2006.01)

C 0 8 K 3/00 (2006.01)

C 0 8 J 3/20 (2006.01)

H 0 1 B 7/02 (2006.01)

H 0 1 B 3/44 (2006.01)

C 0 8 K 5/10 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 27/06

C 0 8 K 3/00

C 0 8 J 3/20 C E V A

H 0 1 B 7/02 Z

H 0 1 B 3/44 B

C 0 8 K 5/10

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 9 月 7 日 (2015.9.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリ塩化ビニル (PVC) ドライブレンド組成物の作製方法であって、PVC、フタル酸エステル非含有バイオベース可塑剤およびフィラーを、25 から 70 の間の温度において、凝結 PVC 粒子および 0.67 g/cc を超えるかさ密度を含むドライ混合物を形成するために有効な時間混合するステップを含む方法。

【請求項 2】

バイオベース可塑剤が、エポキシ化脂肪酸エステルおよびエポキシ化脂肪酸 C₁ - C₁₄ エステルのブレンドを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記混合ステップが、まず PVC とバイオベース可塑剤とを保持時間混合するステップ、およびその後フィラーと、PVC / 可塑剤混合物とを混合して、ドライ混合物を形成するステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

PVC ドライブレンド組成物が、

A. 20 から 80 wt % の PVC、

B. 10 から 40 wt % のバイオベース可塑剤、および

C. 5 から 40 wt % のフィラー

を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

請求項 1 の方法により調製された組成物から製造されたワイヤーまたはケーブルの外被
または鞘。